

「膝関節軟骨 3 次元 MRI 自動描出アプリケーションを用いた足関節軟骨の評価」 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属溝口病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2020 年 7 月 27 日 ～ 2021 年 6 月 30 日

〔研究課題〕 膝関節軟骨 3 次元 MRI 自動描出アプリケーションを用いた足関節軟骨の評価

〔研究目的〕 膝関節軟骨に対して開発された 3 次元 MRI 自動抽出アプリケーションの足関節軟骨に対する有用性を評価することです。

〔研究意義〕 軟骨損傷の評価は MRI による画像評価が一般的ですが、足関節の軟骨は薄いため、その読影は専門医以外には難しく、また専門医であっても時間を要します。また 2 次元の画像では損傷の正確な評価には限界があります。本研究により、既に膝関節軟骨に対して開発された 3 次元画像を自動で描出するシステムが足関節にも応用できることが明らかになれば、今後足関節軟骨の 3 次元画像を自動で抽出するアプリケーションの開発が可能になると考えています。

〔対象・研究方法〕 2020 年 3 月 1 日から 2020 年 6 月 30 日までの間に、帝京大学医学部附属溝口病院で足関節の MRI を撮像した患者様または帝京大学医学部附属溝口病院に所属する健常な放射線技師の方が対象となります。対象画像を膝関節軟骨に対して開発されたソフトウェアに取り込み、匿名化を行った上で、3 次元画像の描出を試み、足関節に対する有用性を評価します。ソフトウェアは富士フイルム株式会社より評価委託契約によって無償で貸与されます。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部附属溝口病院

〔個人情報の取り扱い〕 画像データは匿名化するため、個人が特定されることはありません。匿名化された解析結果が評価委託契約に基づいて富士フイルム株式会社に提供されます。

〔その他〕 本研究において参加者への負担や支払いは発生しません。また情報使用拒否の申し立ての有無は診療内容や業務評価と無関係です。

対象となる患者様または放射線技師の方で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者： 笠井太郎 帝京大学医学部附属溝口病院 整形外科 助手

研究分担者： 安井哲郎 帝京大学医学部附属溝口病院 整形外科 教授

所属： 帝京大学医学部附属溝口病院

住所：神奈川県川崎市高津区二子 5-1-1 TEL:044-844-3333 （代表）